

## 胎生期マクロファージと皮膚再生メカニズムの解析

慶應義塾大学医学部 形成外科学教室  
酒井 成貴

この度は第48回日本創傷治癒学会学術集会において、研究奨励賞という名誉ある賞を頂き大変光栄であるとともに、われわれの研究の成果が学会や多くの方々に認められたということに、ただただ感動しているばかりです。

慶應義塾大学形成外科学教室ではScarless wound healingについて研究を重ね、マウスの胎生13.5日までは皮膚が完全に再生し、以降は再生せずに瘢痕修復することを確認しました。今回、受賞となりました「胎生期マクロファージと皮膚再生メカニズムの解析」は、胎生13.5日のマウスの創傷部にF4/80陽性細胞であるマクロファージの著明な集積が起こることに始まり、胎生期マクロファージには卵黄嚢と胎仔肝単球由来の2種類があることに着目した研究です。具体的には胎生13.5日には卵黄嚢由来のマクロファージのみが存在し、以降は両方が混在し、これらの違いをマイクロアレイで解析を行い、さらに創傷部で卵黄嚢由来マクロファージが間葉系細胞に転換することを示しました。

この受賞はひとえに研究室の皆様のお力添えによるもので、あらためて感謝申し上げます。今後も皆様のご期待に添えるように研究に邁進する所存でございます。

## NEDD4 は慢性炎症病態の形成によりケロイド発症に関与する ～ケロイド体質の一因としての可能性～

北海道大学 大学院医学研究院 形成外科学教室  
藤田 宗純

この度は第48回日本創傷治癒学会において、研究奨励賞を賜りまして大変光栄に存じます。本学会会長の宮澤光男先生、選考委員会の諸先生、ご指導頂いた北海道大学形成外科教授、山本有平先生、研究全般にわたりご指導ご鞭撻賜りました北海道大学遺伝子病制御研究所・分子神経免疫学の村上正晃教授に深く感謝致します。

ケロイドの病態には未だ不明な点があり、ケロイド体質についても詳細は解明されておられません。本研究では、ケロイドの疾患関連遺伝子・NEDD4とケロイド発症の病態、慢性炎症との関連について、NEDD4の一塩基多型(rs8032158)の関与に着目して検証した新たな試みです。リスク型の一塩基(C/C)をもつ患者では、



NEWS  
LETTER

日本創傷治癒学会  
2019.01  
No.109

### ●日本創傷治癒学会事務局

〒160-8582

東京都新宿区信濃町35

慶應義塾大学

医学部形成外科学教室内

tel.03-3351-4774

fax.03-3352-1054

e-mail: info@jswh.com

URL: <http://www.jswh.com>

NEDD4の特定のtranscript variant (TV): NEDD4 TV3の発現が高くなっており、NEDD4 TV3によって表皮角化細胞、線維芽細胞で局所的な慢性炎症病態が惹起され、ケロイドを発症しやすくなることが示唆され、ケロイド体質を説明する一つの要因であると考えられました。

今回の研究奨励賞受賞を励みとし、本研究をさらに発展させケロイド治療に貢献していく所存です。

## ■ 一般社団法人日本創傷治癒学会 平成31年度 ■

2018年11月29日開催の平成31年度社員総会（評議員会）における決議にて、以下の通りの役員および新評議員5名（\*印）が承認されました。

新体制の下に学会のさらなる発展のため邁進していく所存ですので、会員の皆様にはますますのご支援・ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

### 理事（\*:理事長） (14名)

赤坂喜清	市岡滋	*貴志和生	木山輝郎	紺家千津子
佐藤道夫	須釜淳子	鈴木茂彦	館正弘	松村一
水野博司	宮澤光男	吉田昌	和田則仁	

### 監事 (2名)

真田弘美 宮本正章

### 評議員 (68名)

青木茂久	赤坂喜清	秋田定伯	秋野公造	朝戸裕貴
荒牧典子	*石澤美保子	石田裕子	市岡滋	井上肇
猪股雅史	大島秀男	大慈弥裕之	大西清	*大西俊介
大野真司	岡崎悌之	岡部圭介	小川郁	小川令
加藤広行	菅野恵美	貴志和生	北川雄光	木山輝郎
桐木園子	清川兼輔	近藤稔和	紺家千津子	雑賀司珠也
*坂本道治	佐藤道夫	真田弘美	佐野仁美	島田光生
白石憲男	調憲	須釜淳子	鈴木茂彦	高木元
高見佳宏	竹内裕也	武田啓	武田利明	館正弘
田中秀子	田中里佳	田畑泰彦	寺師浩人	土佐泰祥
仲上豪二朗	中谷壽男	中村哲也	西本聡	松崎恭一
松村一	水野博司	峰松健夫	宮澤光男	宮本正章
森亮一	守永圭吾	森本尚樹	*杠俊介	*吉田寛
吉田昌	四谷淳子	和田則仁		

# 漢方医学と西洋医学の融合により 世界で類のない最高の医療提供に貢献します



自然と健康を科学する  
漢方の **ツムラ**

<http://www.tsumura.co.jp/>

●お問い合わせは、お客様相談窓口まで。

【医療関係者の皆様】Tel.0120-329-970 【患者様・一般のお客様】Tel.0120-329-930

(2017年2月制作) PPCAB02-K (商)

**43%\***  
more granulation

Lesling MC, et al. Negative Pressure Wound Therapy With Controlled Saline Instillation (NPWT): Dressing Properties and Granulation Response In Vivo. Wounds: 2011;23:309-319.

Group	Granulation thickness (mm)
NPWT / ROCF-G (n=12 per group)	~3.2
NPWT / ROCF-V (n=12 per group)	~4.8

\*P>0.05

**V.A.C. VERAFLOR® Therapy**  
**V.A.C.® Therapy**  
V.A.C.ULTA® 治療システム

販売名: V.A.C.Ulta治療システム  
医療機器承認番号: 22900BZX00204000

NOTE: Specific indications, contraindications, warnings, precautions and safety information exist for KCI products and therapies. Please consult a clinician and product instructions for use prior to application.  
©2015, 2018 KCI Licensing, Inc. All rights reserved. Unless otherwise designated, all trademarks are proprietary to KCI Licensing, Inc., its affiliates and/or licensors. PRA-PM-JP-00012 (05/18)  
®はKCIの登録商標です。

製造販売元  
**ケーシーアイ株式会社**  
〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル5F  
フリーダイヤル: 0120-897-706  
<http://www.kcij.com>